

令和4年度 府立学校インターミディエイトセミナー（2～4年次研修）
実施要項

- 1 目的 教職経験2～4年次の教諭に対して、初任者研修の一環として研修を実施し、より実践的な指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。
- 2 対象 令和元～3年度の初任者研修受講者の内、今年度に受講を希望した者

3 内容等

【高等学校】

| 回 | 日時 | 内容 | 会場等 |
|----|--|--|-----------|
| 22 | 8月2日（火） ～ 8月22日（月） 提出締切：9月5日（月） | 授業づくり12 思考力・判断力・表現力等の育成をめざした授業とその評価【理論】 | オンデマンド開催 |
| | 8月5日（金） 14:00～17:00 | 児童生徒理解を深めるために4 －いじめへの対応／カウンセリングの考え方と学校教育相談－ | 大阪府教育センター |
| 24 | 8月～1月 | 授業づくり12 思考力・判断力・表現力等の育成をめざした授業とその評価【実践】 | 所属校等 |
| 25 | 1月20日（金） 14:00～17:00 | 授業づくり12 思考力・判断力・表現力等の育成をめざした授業とその評価【検証】 | 大阪府教育センター |

【支援学校】

| 回 | 日時 | | 内容 | 会場等 |
|----|--|----|--|-----------|
| | 1班 | 2班 | | |
| 22 | 8月2日（火） ～ 8月22日（月） 提出締切：9月5日（月） | | 授業づくり12 子ども主体の授業づくりとその評価【理論】 | オンデマンド開催 |
| | 8月5日（金） 9:30～12:30 | | 児童生徒理解を深めるために4 －いじめへの対応／カウンセリングの考え方と学校教育相談－ | 大阪府教育センター |
| 24 | 8月～1月 | | 授業づくり12 子ども主体の授業づくりとその評価【実践】 | 所属校等 |
| 25 | 1月17日（火） ～ 1月19日（木） 14:00～17:00 | | 授業づくり12 子ども主体の授業づくりとその評価【検証】 | 大阪府教育センター |

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

4 会場 第22、24回 所属校等

第23、25回

大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m

JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m

近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担当室 企画室、支援教育推進室

- 6 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
 - (3) 自家用自動車・バイク等は教育センターに駐車できません。
 - (4) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと。
 - (5) Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

個別募集

令和4年度 府立学校インターメディアイトセミナー（2～4年次研修） シラバス

1 目的

教職経験2～4年次の教諭に対して、初任者研修の一環として研修を実施し、より実践的な指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

【高等学校】

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1期 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

【支援学校】

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | | 職に応じた指標 | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|----------|---|---|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | | 支援学校（学級） | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 1 | 2 | 3 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1期 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修課題とねらい等

【高等学校】

| 回 | 研修課題 | ねらい | 準備物・事前課題 |
|----|--|--|--------------------------------------|
| 22 | 授業づくり12 思考力・判断力・表現力等の育成をめざした授業とその評価【理論】 | 思考力・判断力・表現力等の育成とその評価について理解を深め、実践に向けて ICT の効果的な活用、指導と評価の一体化など具体的な授業の在り方について考える。 | 準備物 担当している教科・科目の教科書又は副読本 |
| 23 | 児童生徒理解を深めるために4 ーいじめへの対応／カウンセリングの考え方と学校教育相談ー | <ul style="list-style-type: none"> いじめ事象の未然防止や初期対応、事後の子どもへのケアなどについて学ぶ。 生徒や保護者との関係づくりに生きるカウンセリングの考え方について学ぶ。 | 事前課題 自校の「いじめ防止基本方針」を読んでおく。 |
| 24 | 授業づくり12 思考力・判断力・表現力等の育成をめざした授業とその評価【実践】 | <ul style="list-style-type: none"> 思考力・判断力・表現力等の育成とその評価について、理論回での学びを生かした学習指導案を立案し、授業実践する。 実践を振り返り、「実践レポート」にまとめる。 | |

| | | | |
|----|---|--|--|
| 25 | 授業づくり12 思考力・判断力・表現力等の育成をめざした授業とその評価【検証】 | 思考力・判断力・表現力等の育成とその評価について、理論回での学びを生かした授業実践を振り返り、検証を通して今後に向け授業改善を図る。 | 準備物 ・実践レポート、指導案（提出用1部、交流用6部） ・実践回で行った授業の教科・科目のシラバス（1部） 事前課題 ⇒ ダウンロード |
|----|---|--|--|

【支援学校】

| 回 | 研修課題 | ねらい | 準備物・事前課題 |
|----|--|--|---|
| 22 | 授業づくり12 子ども主体の授業づくりとその評価【理論】 | ・子どもを主体とした授業づくりとその評価について理解を深め、実践に向けて具体的な授業の在り方について考える。 | |
| 23 | 児童生徒理解を深めるために4 ーいじめへの対応／カウンセリングの考え方と学校教育相談ー | ・いじめ事象の未然防止や初期対応、事後の子どもへのケアなどについて学ぶ。 ・生徒や保護者との関係づくりに生きるカウンセリングの考え方について学ぶ。 | 事前課題 自校の「いじめ防止基本方針」を読んでおく。 |
| 24 | 授業づくり12 子ども主体の授業づくりとその評価【実践】 | ・【理論】回で学んだことを生かし、学習指導案を作成し、子ども主体の授業とその評価を実践する。 ・所属校での実践を振り返り、取組みの成果や課題、改善点についてレポートを作成する。 | |
| 25 | 授業づくり12 子ども主体の授業づくりとその評価【検証】 | ・実践レポートを用いて、授業実践の内容を検証、共有し、子ども主体の授業づくりの観点からの幅広い授業改善の工夫について学ぶ。 ・授業実践に関する自信の成果と課題を振り返り、今後の授業改善の具体的方策を考える。 | 準備物 ・実践レポート ・学習指導案（提出用1部、交流用4部） 事前課題 ⇒ ダウンロード |

4 OSAKA 教職スタンダードとの関わり

【高等学校】

| 求められる資質・能力 | | 第1期 | 研修回 |
|------------|-----------|------------------------------|-----|
| Ⅰ | 1 人権尊重の精神 | 人権尊重に基づいた子ども理解ができ、指導することができる | |
| | 2 危機管理能力 | 学級等の安全管理ができる | |
| | 3 学び続ける力 | 優れた取組みに学ぶ姿勢を持っている | |
| Ⅱ | 4 課題解決能力 | 子どもの課題を把握し、解決に向けて行動できる | |
| | 5 法令遵守の態度 | 教育公務員として法令を遵守することができる | |
| | 6 事務能力 | 計画的かつ正確・丁寧に処理できる | |

| | | | |
|---|----------------------------|------------------------|----------|
| Ⅲ | 7 協働して取り組むことができる力 | 組織の一員としての自覚を持っている | |
| | 8 ネットワークを構築する力 | 課題を解決するために相談することができる | |
| | 9 マネジメントする力 | 学級経営等を行うことができる | |
| Ⅳ | 10 授業を構想する力 | 子ども主体の学習指導案を作成することができる | 22、24、25 |
| | 11 授業を展開する力 | 基本的な授業スキルを実践に生かすことができる | 22、24、25 |
| | 12 授業を評価する力 | 様々な方法を用いて自分の授業を振り返る | 22、24、25 |
| Ⅴ | 13 子どもを理解し、一人ひとりを指導する力 | 個に応じた指導・支援ができる | 23 |
| | 14 子どもの集団づくりを指導できる力 | 迅速な報告・連絡・相談を行うことができる | 23 |
| | 15 子どもを集団づくりの中でエンパワーできる指導力 | 学級の子ども一人ひとりの実態把握ができる | 23 |

【支援学校】

| 求められる資質・能力 | | 第1期 | 研修回 |
|-------------------|----------------------------|-------------------------------|-------------|
| Ⅰ | 1 人権尊重の精神 | 人権尊重に基づいた子ども理解ができ、指導することができる | |
| | 2 危機管理能力 | 学級等の安全管理ができる | |
| | 3 学び続ける力 | 優れた取組みに学ぶ姿勢を持っている | |
| Ⅱ | 4 課題解決能力 | 子どもの課題を把握し、解決に向けて行動できる | |
| | 5 法令遵守の態度 | 教育公務員として法令を遵守することができる | |
| | 6 事務能力 | 計画的かつ正確・丁寧に処理できる | |
| Ⅲ | 7 協働して取り組むことができる力 | 組織の一員としての自覚を持っている | |
| | 8 ネットワークを構築する力 | 課題を解決するために相談することができる | |
| | 9 マネジメントする力 | 学級経営等を行うことができる | |
| Ⅳ | 10 授業を構想する力 | 子ども主体の学習指導案を作成することができる | 22、24、25 |
| | 11 授業を展開する力 | 基本的な授業スキルを実践に生かすことができる | 22、24、25 |
| | 12 授業を評価する力 | 様々な方法を用いて自分の授業を振り返る | 22、24、25 |
| Ⅴ | 13 子どもを理解し、一人ひとりを指導する力 | 個に応じた指導・支援ができる | 22、23、24、25 |
| | 14 子どもの集団づくりを指導できる力 | 迅速な報告・連絡・相談を行うことができる | 23 |
| | 15 子どもを集団づくりの中でエンパワーできる指導力 | 学級の子ども一人ひとりの実態把握ができる | 22、23、24、25 |
| 専門領域【支援学校（学級）の教諭】 | | | |
| 1 | ネットワークの構築 | 子ども一人ひとりの課題を解決するために相談することができる | |
| 2 | 子ども理解 個の教育的ニーズに応じた指導・支援 | 個に応じた指導・支援ができる | 22、24、25 |
| 3 | 交流及び共同学習等 | 学級の子ども一人ひとりの実態把握ができる | |